

# 木もれ日

komorebi/2022.3

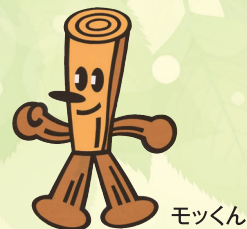
私たちの  
生活は  
森林に  
守られて  
います

- ◆森林環境税について
- ◆森林環境税を活用した取り組み
- ◆第3期計画の策定について
- ◆あなたの山も整備しませんか
- ◆森のまもりびと紹介

山梨県

# 森林環境税について

山梨県では、平成24年4月から「森林環境税」を導入し、森林を健全な姿で未来に引き継ぐための森づくりを進めています。



## 森林環境税の導入

社会経済環境の変化に伴い、民有林の中には整備が行き届かず、荒廃が進んでいる森林が多く見られるようになり、森林の持つ公益的機能の低下が心配されています。

そこで山梨県では、県民の暮らしを支えるかけがえのない森林を健全な姿で次の世代へ引き継ぐために、森林環境税を導入し、その税収を財源として様々な事業を行うことで、公益的機能が十分に発揮される森林づくりを進めています。

### ▼ 森林環境税の仕組み

	対象者	税額	課税方法
個人	・ 県内に住所がある方 ・ 県内に事務所、事業所または家屋敷をもっている方	年額500円	既存の県民税均等割に上乗せ
法人	・ 県内に事務所、事業所または寮等を持っている法人等	均等割額の5%相当	

## 森林の公益的機能とは

県土の78%を占める森林は、木材を生産するだけでなく、洪水や土砂災害から県土を保全して県民の生命や財産を守るとともに、二酸化炭素を吸収して地球温暖化を防止するなど、私たちの暮らしと切り離すことができない多くの大切な機能を持っており、この機能のことを「森林の公益的機能」と言います。

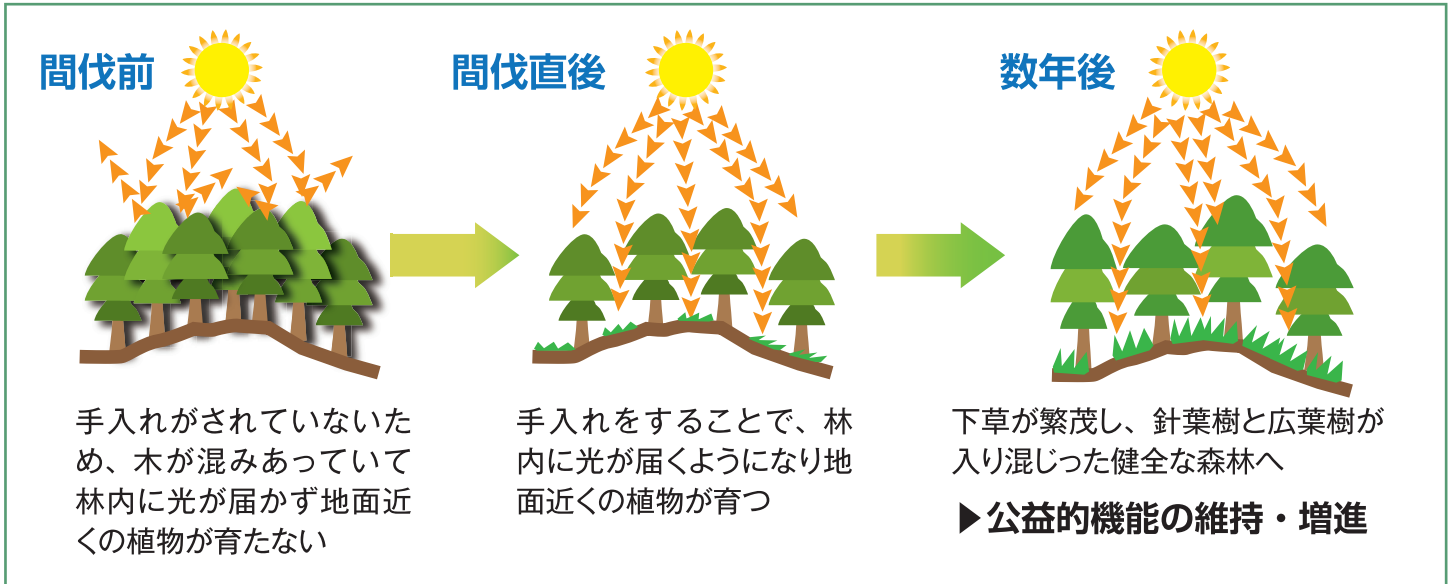


# 森林が持つ公益的な機能を発揮するためには

木材価格の低迷や山村地域の過疎化、高齢化が進行したことにより、山梨の民有林の多くは、手入れができずに**森林が荒廃**しています。



荒廃森林再生事業（森林環境税）により、「**元気な森林**」がよみがえります。



## 森林環境税を活用した取り組み

県では、4期20年（平成24年～令和13年度）で19,000ヘクタールの荒廃森林を解消することを目的に、これまで荒廃した人工林の間伐や里山の整備等を行う「多様な公益的機能の維持・増進を図る森づくり」、県産材を使った机や椅子の導入を支援する「木材・木質バイオマスの利用促進」、森林体験活動の支援や県民を対象とした現場見学会を開催する「社会全体で支える仕組み」の3つの基本施策を掲げて事業を進めてきました。



## 主な事業の実績

これまで、第1期と第2期の10年間で、約7千ヘクタールの荒廃した森林を再生するなど、一定の成果をあげることができました。なお、桂川流域の森林整備の一部は、下流域である神奈川県と共同で取り組んでいます。



基本施策	事業の概要	第1期実績		第2期実績（見込）	
		(H24~H28)		(H29~R3)	
多様な公益的機能の維持・増進を図る森づくり	荒廃森林再生事業	3,911	ha	3,364	ha
	里山再生事業	503	ha	544	ha
	広葉樹の森づくり推進事業	78	ha	39	ha
木材・木質バイオマスの利用促進	甲斐の木づかい推進事業	768	組	715	組
社会全体で支える仕組み	県民参加の森林づくり推進事業	1	式	1	式
	森林体験活動支援事業	68	機関	69	機関
	森林環境保全基金運営協議会等	1	式	1	式

# 森林環境税に関するアンケート調査

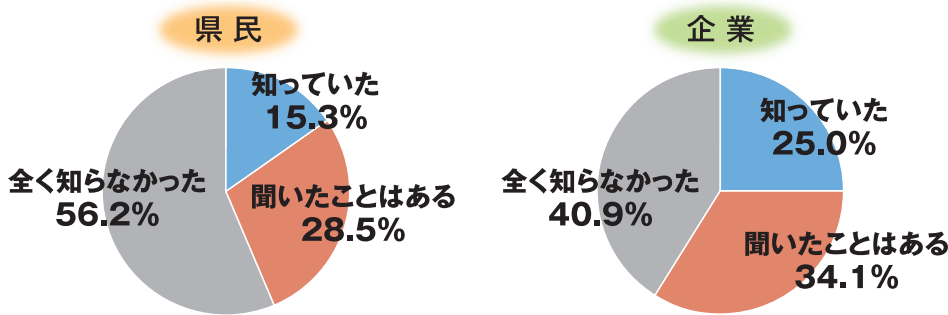
令和3年度、第2期計画が終了することから、森林や森林環境税に対する県民の基本的な認識や考え方を把握し、森林環境税を活用した事業等の見直しの参考とすることを目的に実施しました。

## 【調査の概要】

- 調査方法：郵送によるアンケート調査
- 調査期間：令和3年2月3日～同年3月12日
- 調査対象者等
  - ・ 県民向け調査 2,012人（県内全域）〈回収率54.2%〉
  - ・ 企業向け調査 410社（県民税均等割を納めている法人）〈回収率32.2%〉

## 県税の認知度

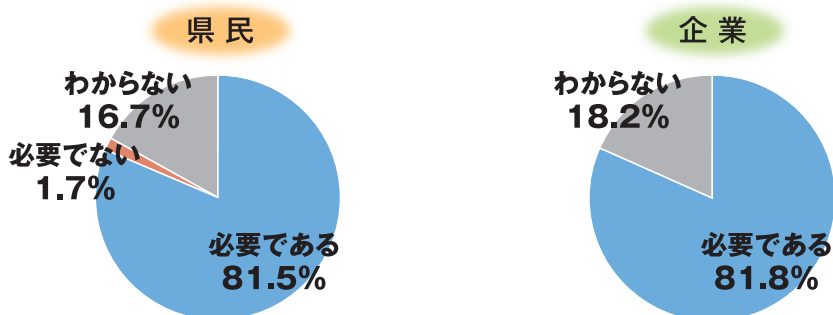
問) 平成24年度から森林環境税を導入した事業を進めていることをご存じでしたか。



税事業について、県民の約56%、企業の約41%が「全く知らなかった」と回答

## 事業の継続

問) 令和4年度以降について、県税を活用した荒廃森林の整備を必要とお考えですか。



県民、企業ともに約8割が県税を用いた事業の継続が必要と回答

## 第3期計画に向けた考え方

次の点を踏まえ、公益的機能を有する森林を、世代を超え、県民全体で守り育てていくため、森林環境税の制度を継続する必要があると判断しました。

- ・ 3つの基本施策に基づく事業展開により、「健全な山梨の森づくり」に向けて着実に成果は上がっていますが、依然として多くの荒廃森林が存在しています。
- ・ 大型台風や集中豪雨が増加傾向にある中、土砂災害の未然防止や地球温暖化防止の観点から、荒廃森林の早期解消が強く求められています。
- ・ アンケート調査から、森林環境税による森林整備などの取り組みの必要性について、概ね県民の理解が得られていると推測される結果となりました。